

「9月13日 感動の記念日」

校長 山浦 麻紀



カーネーション

花言葉・・・「感動」

道を歩いていると、どこからともなく金木犀の甘い香りが漂ってきます。9月になっても残暑の続く日々でしたが、最近、やっと朝夕の涼気に秋の気配が感じられる頃となりました。

「秋」という季節は、春に種をまき、夏のエネルギーを蓄え、立派に成長した食物などを収穫する季節です。学校においても、子どもたちは、蓄えた力を思いっきり自己表現することにチャレンジしてくれています。

9月13日（土）にはさいたま市文化センターで、岸中学校文化祭（文化部の発表と合唱コンクール）が行なわれました。まさに、「一生、心に残る感動的な文化祭」を、生徒皆さんのチャレンジ力で創り上げてくれました。練習時間が短かったにもかかわらず、生徒一人ひとりのみなさんの魂と魂の通い合う素晴らしい発表や演奏、展示を聴いたり見たりすることができました。

「美術部」は丁寧で迫力ある作品を、「演劇部」は会場中の観客が思わず息や瞬きを忘れてしまうぐらいの圧巻のダンスや演技を魅せてくれました。「理科部」は、プログラミング班によるオープニング動画やワクワクする空気砲等で会場を盛り上げてくれました。「英語部」は本格的な発音とともにショータイムを繰り広げ、エンターティナー力を発揮してくれましたし、「吹奏楽部」もプロのような素敵な音色とプログラムで私たちの心を Happy に踊らせてくれました。

そして・・・合唱コンクール。全てのクラスの合唱の度に大ホールが感動の渦に包まれました。

1年生の一生懸命さ、純朴な明るい合唱に**感動**しました。2年生の力強さと明るさ、丁寧さも感じる歌声に**感動**しました。そして、特に3年生。3年生はステージに立った瞬間から気持ちがグッと伝わってきました。まさに最高学年として誇るべき凛とした態度、美しくあたたかでエネルギッシュな歌声に「3年生になるとここまでうまく歌えるようになるのか」と次々と**感動の涙**がこみあげる素晴らしいものでした。後輩にとって、岸中にとって、本当に本当に自慢の3年生です。

1年生も2年生も3年生も、「世界へ届け ^{アオハル} 我らの青春」、君たちは最高級で素晴らしい！

まさに、9月13日は、感動の記念日となりました。

保護者の皆様方、地域の皆様方には、多くの様々な面での御理解御協力を頂きましたこと、そして暖かい御声援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。有り難うございました。

さらに、後日、本校教職員へ感謝と励ましのお便りを複数通頂きましたこと、感動、感激いたしました。重ねて感謝申し上げます。

さて、運動部は9月24日（水）から新人体育大会が始まりました。3年生から部活動を受け継ぎ、夏の猛暑を乗り切った1，2年生が、その成果を発揮する時が来ました。岸中学校のユニホームに誇りを持って「**もっと 岸中 前へ！**」頑張ってください。また、交通事故には十分な注意をお願いします。

3年生は進路に向かって少しずつ取り組みが始まりました。**自分のペースで、ゆったりと、**今できること、今やるべきことを一步一步進んでください。皆さんなら、大丈夫です。応援しています。